

会 議 録

会議の名称	川島町学校跡地・施設利活用検討委員会・第7回目
開催日時	令和元年12月11日(水)午後3時00分～午後4時45分
開催場所	川島町役場2階大会議室
議 題	各学校跡地・施設の利活用方法について
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ 一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)	
出席者	委員 藤間委員長、清水副委員長 宇津木委員、尾林委員、井上義道委員、戸森委員、今井委員、井上務委員、 中里委員、猪鼻委員、野村委員、石島委員、石川委員
	事務局職員 藤間政策推進課長、坪内主幹、鈴木主査
配布資料	資料① 今年度になってからの「学校跡地・施設の利活用」に関する 取り組みについて 資料② 学校跡地・施設の利活用案に関する意見一覧 資料③ 学校跡地・施設の利活用案に関する意見のまとめ 資料④ 町が考える学校跡地・施設の利活用方法(案) 参考資料 学校跡地・施設の整備及び運営に関する基本方針
審議会等の内容・概要	
<p>協議会等の内容・概要</p> <p>1 開 会 司会</p> <p>2 あいさつ 藤間委員長</p> <p>3 議 事 進行：藤間委員長 説明：坪内主幹</p> <p>(1) 会議の公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開とする。</li> </ul> <p>(2) 会議録及び会議署名委員の指名について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇津木委員と、尾林委員の2名に決定した。</li> </ul> <p>(3) 学校跡地・施設の利活用案に関する意見ならびに 町が考える学校跡地・施設の利活用案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴希望者の状況報告(傍聴者希望者なし)</li> <li>・資料①から④及び参考資料について事務局より説明</li> </ul> <p>意見(・が発言及び質問、→が回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両施設に職員を常駐させるとのことだが、勤務体制はどのように考えているか。 →週5日、1日7時間勤務を想定しており、次年度に必要経費を予算要求しております。 勤務体制は、今後さらに精査するにしても、来年度からは、廃校施設に職員を置いてスタートしていきたい考え方であります。</li> </ul>	

- ・来年度は、資料④のとおり実施していくことで決定したと考えてよいのか。  
 →この案をもって教育委員会と協議を行う考えです。また、公民館運営審議会などでも協議していただき、最終的には総合教育会議に諮ることにしたいと考えています。

→公民館は耐震補強を実施しておらず、今のところ、建て替えも行う予定がありません。そこで、廃校施設に公民館機能を移転させることが必要であろうという考え方です。しかしながら、この案に沿って、来年度から公民館の活動を全て廃校施設で行うというものでなく、試行的に取り組みながら、徐々に公民館機能を移行していければと考えています。
- ・展示施設を設ける案については、方向性はどのようになるのか。  
 →公民館の活動団体や民間企業などが、廃校施設を利用する中で、展示施設まで常設するとなれば、利用者の混乱を招いてしまう恐れがあると考えます。そこで、利用状況を見た中で、展示施設を常設できると判断できた場合には、古民具や古農具の展示などを具体的に検討することになると考えています。
- ・これまでの検討委員会で意見のあった、植物工場としての利用は不可能なのか。  
 →これまでの検討において、法的に難しいという結論でした。
- ・公民館の年間維持費はどれくらいなのか。  
 →年間維持費は1施設150万円程度となっています。
- ・公民館機能を廃校施設に移転させれば、この年間維持費が不用となると考えてよいか  
 →廃校に公民館機能が完全に移転しない限り、公民館自体、建物は残るわけですから、この経費が不用になるというものではありません。
- ・現在、施行している廃校施設の一時開放に関する要綱が、今年度末で期限満了となるので、来年度からあらためて2年間程度、試行的に開放し続けたいという考え方です。その中で、地域の要望などを踏まえ、利用方法について、さらに試行錯誤していきたいと考えています。
- ・公民館機能を廃校施設に移した場合、何か弊害はあるか。  
 →旧出丸小学校の場合、敷地が狭いことから、駐車スペースは、現在の公民館よりも減るであろう。よって、かえって利便性の低下が懸念される。この点、町でも検討をお願いしたい。  
 →旧小見野小学校の場合、敷地が広いことから、駐車スペースは問題ないと考える。公民館の耐震診断の結果を考慮すると、廃校施設への公民館機能の移転はやむを得ないと考える。
- ・出丸公民館は、選挙の投票所として使用しているが、室内が非常に狭いので、廃校施設を投票所として使用できないのか。  
 →駐車スペースの確保など、課題をクリアできれば、廃校施設を投票所とすることは可能であろうと思います。ただし、これは選挙管理委員会の判断によります。
- ・現代は、車社会であるにもかかわらず、当町は、小中学校も含め町内の施設は何処も駐車スペースが充実していないと感じる。例えば、平成の森公園には大型バスを停めるスペースは無いし、農産物直売所でも数台しか用意されていない。時代の流れや現状を把握し、それに合わせた対応をしなければならない。特に、当町は、車利用者にとってメリットがなければ、訪れてさえもらえない。

- ・学校の統廃合や、廃校跡地の利活用の問題は、結局、子どもの人数の減少が起因であることにつける。
- ・川を挟んで隣市の川越市は人口が増加している。駅が近くに無いことも人口減少の一因かと思われる。
- ・市街化調整区域であることの制約が、余りにも大きいため人口減少が起こる。
- ・古民具、古農具の展示などは両施設で行うのではなく、どこか一箇所に集約させたほうが良いのではないか。また、ある程度、展示物のテーマは絞った考え方をしたほうが良い。
- ・町は人口が減少しており、まもなく2万人を下回ってしまう。町内に外国人労働者がいなかったら、もっと早い時期に2万人を下回っていたと思う。今後、介護や医療など様々な現場で外国人労働者が増加してくると思うので、廃校施設を利用して、日本語を学んでもらえるような機会を提供していくことが必要だと思う。
- ・他市町村での事例であるが、人を集めるには、飲食店などを誘致して営業してもらうことが効果的だと思う。週末限定などでもいいから、地域や公民館が主体となって飲食店などを営業することは可能か。  
→法的な面を確認する必要がありますが、地域住民が主体となり、地域主導で活用方法を考えていただき、その取り組みを町が支援していくという姿は望ましいことと考えます。
- ・既存のスポーツ団体などは引き続き体育館やグラウンドを利用していくと思うが、校舎も含めて、受益者負担の面からも、維持管理にかかる費用は引き続き徴収すべきだ。  
→現在、暫定的に使用料を定めているが、ロケなど営利目的での使用料は、近隣と比較すると安価なので、来年度から適正な価格にできるよう進めています。使用料として収入が増えれば、町としてメリットが出てくると思います。
- ・宿泊できる施設は、大きな価値があると思う。これまで検討委員会の中で、宿泊施設として使用することは難しいとの結論に至ったかと思うが、町には、めげずに今後も継続して検討してもらいたい。
- ・都内の廃校施設では、サービス付高齢者向け住宅として活用した事例がある。そういった施設があると、地元雇用が増えるし、入居者の家族も訪れるようになって、大きな経済効果があるそうだ。
- ・先般の台風でも避難指示が発令されて避難所として使用した経緯もある。川に囲まれた地理的特性を考えると、やはり廃校施設は残すべきだ。
- ・ロケ撮影を誘致したとしても、地域住民がいつでも使用できるだけのスペースは、ある程度残しておくべきだ。  
→これまで、撮影現場として利用した際に、地域の皆さまにご不便をおかけしたケースがありましたので、今後は地域住民を優先する考え方で調整してまいりたいと思います。また、撮影などで使用する場合に、適正な額で使用料を徴収すれば、それを施設の整備や清掃に要する費用などに充てることもできると思います。
- ・花まる学習会が、定期的に旧小見野小学校を使用しているが、これは来年度以降も継続し


ていく予定でいるのか

→花まる学習会については、引き続き自然体験や農業体験などの事業を、試行的に継続していく予定と聞いています。使用料については、規定の料金を支払ってもらう考えです。

- ・町では、今年度中に、市街化調整区域に存する学校や公民館周辺を中心として、都市計画法第34条第11号の区域指定を行う予定でいます。これにより、市街化調整区域でも宅地造成が可能となるので、地域の活性化に繋がってくると考えています。
- ・各地区において、世帯数は減っていないが、人口は減っている。特に若年層が都市部へ出て行ってしまうケースが多いかと思うが、原因はどこにあると思うか。  
→一概には言えませんが、当町は働く場所が少ないことが一因になっていると思います。やはり働き場を求めて都市部へ人口が集まるのではないのでしょうか。同じ金額の賃貸物件であれば、働く場所がない所より働く場所に近い方が、生活するのに当然メリットがあるわけですから。
- ・働く場所が無いことで住民が少なくなり、その結果商業施設も進出しない。交通の利便性も改善されないといった悪循環になっている。こういった様々な要因が集約されていく中で、人口減少が起こっているのだと思う。
- ・両施設は学校として使用するものでないとなれば、周囲のフェンスを撤去してはどうか。使用可能なスペースが広がり、新しい有効活用の方法も発見できるのではないか。

4 その他

5 閉会 あいさつ 副委員長

署名	尾林 浩 
	寺津 本 康 明 